

ICS2. 保健・医療・福祉部門の指揮・調整機能（支援）の継続とコーディネートチームの移行準備

IAP1. 指揮・調整機能（コーディネートチーム）の継続と保健所への移行準備

- 指揮・調整機能の稼働状況の現状分析と移行時期の判断
- 移行後のコーディネートチームの役割の再確認と再編成
- 保健所長機能継続支援のための近隣保健所などとの連携体制の構築の必要性の判断と構築開始
- 必要なアドバイザーへの支援要請

IAP2. 保健・医療・福祉部門の情報収集・企画部門の体制の活動継続

- 地域保健・医療・福祉関連施設の被害状況の把握とリスト化による共有
- 医療機関の情報収集の継続と共有（EMIS、衛星携帯電話、など）
- 市町村の傷病者情報収集の把握と共有
- 市町村の要支援者情報の把握と共有
- 医療救護所の稼働状況の把握と共有
- 福祉救護所の稼働状況の把握と共有
- 外部への医療支援要請の判断の継続

IAP3. 保健・医療・福祉部門の経理・総務管理の継続

- 必要物品リスト、不足物品リストの集約と発注
- 主観部局との予算確保の話し合い開始
- 職員の勤務体制の把握と労務管理の継続
- 職員の健康管理と安全衛生管理の継続

IAP4. 保健・医療・福祉部門の物流確保の継続

- 地域の必要物品（医薬品、医療材料、その他必要物資）のリスト化
- 地域の必要物品の備蓄量の確認とリスト化
- 必要物品の購入先、納入日数の確認とリスト化
- 地域医療機関などのライフライン情報の確認と支援の継続
- 経理・総務管理部門への必要物品リストの提出

IAP5. 保健・医療・福祉部門の渉外活動の継続

- 上位危機管理部門との連携の継続
- 市町村危機管理部門との連携の継続
- 地域関連機関との連携の継続
- コーディネートチームへの情報集中の強化

IAP6. 保健・医療・福祉部門の地域報道体制の継続

- 上位機関との情報提供における役割の再確認
- 住民への情報提供の継続
- 地域報道機関（システム）への定期的地域情報の提供（ブリーフィング含む）継続
 - ・ 救護所の診療可能状況、医療機関の診療可能状況
 - ・ 福祉救護所の受け入れ可能状況
 - ・ トリアージ別の受診機関の選別情報（赤は拠点病院へ、黄は一般医療機関へ、など）

ICS3. 外部からの支援助入れ体制の継続

IAP1. 外部からの保健医療福祉支援隊の受入れ体制の維持

- 医療支援隊の受援体制の構築と支援必要場所（救護所、避難所、など）のリスト化
- 医療支援隊の支援場所のリスト化（DMAT, 自衛隊, JMAT, その他）
- 行政保健師、行政栄養士などの受援体制の構築と支援場所のリスト化
- その他の保健医療福祉関連団体ボランティア受援体制の構築

- 支援隊に対する地域基本情報資料の配布

IAP2. 外部からの保健医療福祉支援隊の災害時調整会議開催体制の継続

- 支援隊間の情報交換会議の定期的開催体制の継続（場所、頻度の連絡）
- 日々の会議の開催（検討内容、決定方法の訓練、など）

IAP3. 外部からの保健所支援隊の受け入れ

- 支援保健所長、職員などの役割の明確化
- 支援保健所の支援期間の判断

ICS4. 地域の医療確保

IAP1. 地域における災害時医療体制の活動継続

- 被災者情報に基づく今後の必要医療体制の判断
- 地域の災害時医療体制（救護所、医療機関など）の稼働状況に基づく必要支援の判断
- 地域コーディネートチームと保健所によるコーディネートへの移行
- 地域災害時緊急医療の過不足の判断と外部への追加支援要請の判断
- 地域通常医療への移行の時期の判断

IAP2. 病院前医療の確保

- 救護所、避難所、などの稼働状況、医療稼働状況把握とリスト化の継続
- 支援必要場所、支援必要内容、支援規模の決定と支援開始
- 地域コーディネートチームと保健所の情報共有の強化

IAP3. 入院医療の確保

- 被災者数、医療機関の被災状況の把握と地域外への入院医療要請の規模と種類の情報収集と整理
- 主管部局を通じた地域外入院医療の確保要請
- 必要に応じた地域外への患者搬出体制の継続
- 通常入院体制への移行時期の判断

IAP4. 地域外への患者搬出継続

- 必要に応じた患者の搬出の継続
- 主管部局による搬出調整の継続
- 通常救急体制への移行時期の判断

IAP5. 災害後の地域の通常医療維持体制確保のための準備

- 医療機関の被災状況に基づく地域の通常医療可能状況の把握（出産、手術、など）
- 地域で不足が予測される通常医療の判断と体制再構築の検討

IAP6. 地域レベルの医療総務業務の継続

- 地域緊急医療体制に必要な医薬品、医療用水、燃料等の調達支援
- 地域薬剤師会、薬品会社などとの連携による支援医薬品の管理と配布
- 市町村などの水道管理部門との連携による医療機関の医療用水の確保支援
- 燃料販売会社などとの連携による医療機関の燃料確保支援
- 通常体制への移行時期の判断

ICS5. 福祉施設支援の開始

IAP1. 福祉施設の被災状況の把握

- 福祉施設のリストに基づく被災者数の把握と必要支援の継続
- 福祉施設のライフラインの被災状況の把握と必要支援の開継続
- 災害時に地域の介護必要な被災者の受け入れ可能数把握の継続
- 通常体制への課題と解決策の検討

IAP2. 福祉施設支援の継続

- 必要支援の継続

ICS6. 公衆衛生対策・市町村支援

IAP1. 公衆衛生対策における市町村支援

- 避難所の運営状況の把握と必要支援把握
- 救護所の運営・管理状況の把握と必要支援把握
- 訪問調査に関する調整窓口の設置と外部からの支援要員の調整継続
- 地域公衆衛生対策に関する統括会議の開催（場所と時間など）
- 通常体制への移行時期の検討

IAP2. 避難所、救護所などの必要支援内容の把握と外部からの支援規模の把握

- 避難所について、必要な支援内容を検討し、外部からの支援規模の把握と支援要請
- 救護所について、必要な支援内容の検討と、外部からの支援規模の把握と支援要請
- 避難所などの感染症対策（予防、モニタリングシステム、発生時対応）強化
- 避難所などの食中毒対策（予防、発生時対応）強化
- 避難所などの栄養対策（バランス食の提供体制、特殊栄養食品、給食体制、など）継続
- 二次健康被害予防体制（エコノミー症候群、こころのケア、など）強化

《グッズ1：避難所における二次健康被害予防のためのポスター集》

<http://www.support-hc.com/>

http://www.phcd.jp/kenkou_kiki_kanri/H22poster.pdf

IAP3. 在宅要支援者対策に関する対応内容と役割の調整

- 在宅要支援者の必要な支援内容と支援規模の把握と支援要請
- 在宅要支援者の外部からの支援者数などの市町村との調整と支援要請
- 通常体制への移行時期の判断

IAP4. 精神対策の準備と役割の調整

- 通常の精神危機管理体制の確保（保健所における）
- 在宅精神患者の安否確認の継続と必要な外部支援の判断と支援要請及び通常体制への移行
- こころのケア対策の開始

IAP5. 安全な水の確保の検討

- 安全な水の確保状況についての情報の確認と必要支援要請
- 必要に応じて、主管部局を通じた給水応援体制の確保の必要支援要請
- 住民に対する地域の安全な水提供場所（湧水、井戸水、など）の情報提供継続
- 生活用水の確保対策状況の把握
- 通常体制への移行

IAP6. 環境対策の検討

- 必要となる廃棄物対策の体制の確認と必要な支援継続及び通常体制への移行時期検討
- 必要となる下水対策の確認と必要な支援継続及び通常体制への移行時期検討
- その他、必要となる環境対策の確認と必要な支援継続及び通常体制への移行時期検討

IAP7. 動物対策

- 必要に応じた動物避難所の立ち上げと必要な支援継続及び通常体制への移行時期検討
- 避難所ペット対策の検討の開始と必要な支援継続及び通常体制への移行時期検討
- 動物愛護会など民間団体と連携した必要支援の実施及び通常体制への移行時期検討
- 必要な人畜感染症予防対策の継続及び通常体制への移行時期検討

IAP8. 遺体対応の準備

- 警察と連携した死体検案体制の確保と支援及び通常体制への移行時期検討
- 市町村と連携した死体対応体制の継続及び通常体制への移行時期検討
- 葬儀関連団体との連携による死体保管体制の継続及び通常体制への移行時期検討

ICS7. 地域ソーシャルキャピタルの活動状況の把握と継続が必要支援の検討

IAP1. 既存関連団体の活動状況の把握（活動内容、場所、規模、課題など）

- 自治防災組織
- 日赤奉仕団
- 食生活改善推進員
- 連合婦人会

IAP2. その他のソーシャルキャピタルの活動内容の把握（活動内容、場所、規模、課題など）

- 職域、学校（PTA など）におけるソーシャルキャピタル

ICS8. 保健所が直接行う対応

IAP1. 相談機能の継続

- 住民相談窓口の継続及び通常体制への移行時期検討
- 地域医療保健福祉関係者ホットラインの設置と連携及び通常体制への移行時期検討の継続

IAP2. 在宅要支援者対応

- 在宅要支援難病患者の必要な支援の継続及び通常体制への移行時期検討
- 在宅要支援精神疾患患者の必要な支援の継続及び通常体制への移行時期検討

《回復期における標準 ICS/IAP》

【対応時期】

発災 2 週間程度以降：外部からの保健・医療・福祉等の資源が撤退、避難所の閉鎖が開始された時期

【主な対応目標】

- ・保健所単独による地域資源を用いた保健・医療・福祉コーディネートの再開
 - －地域の通常保健・医療・福祉体制の回復状況の把握と通常体制への移行
 - －地域の通常保健・医療・福祉体制への円滑な移行への必要事項の検討、調整補助
- ・保健所による市町村への支援の継続の必要性の判断（心のケア等の二次健康被害予防活動）
- ・保健所が対応を受け持つ要支援者の通常医療への円滑な移行の支援
- ・防災計画下での系統的対応の終息時期の検討補助
- ・通常の公衆衛生活動に移行するための時期と課題の検討
- ・発災後の保健所活動内容についての評価及び再構築の開始

ICS1. 保健所の機能確保

IAP1. 保健所のインフラ確保

- －保健所庁舎の被災状況の診断と必要に応じた復旧対策策の継続
- －保健所内の機器（電気、通信、事務機器など）の被災状況の判定と復旧対策の継続

IAP2. 保健所の人員の確保

- －被災職員の確認と復職可能時期の把握
- －災害時健所内 BCP の終了と通常業務への移行時期の判断

IAP3. 保健所の必要機材などの確保

- －被災機材の修繕など通常業務への準備

IAP4. 保健所のライフラインなどの確保

- －通常業務のためのインフラの復旧

IAP5. 保健所内指揮機能の明確化

- －通常指揮命令系統への移行

ICS2. 保健・医療・福祉部門の指揮・調整機能（支援）の通常体制への移行

IAP1. 保健・福祉指揮・調整機能（コーディネートチーム）の保健所への復帰

IAP2. 保健・福祉部門の情報収集・企画部門の体制の通常体制への復帰

IAP3. 保健・医療・福祉部門の経理・総務管理の通常体制への復帰

- －災害時経理の決算

IAP4. 保健・医療・福祉部門の物流の通常体制への復帰

IAP5. 保健・医療・福祉部門の渉外活動の通常体制への復帰

IAP6. 保健・医療・福祉部門の地域報道体制の通常体制への復帰

ICS3. 外部からの支接受入れ体制の終了

IAP1. 外部からの保健医療福祉支援隊の受入れ体制の終了

IAP2. 外部からの保健医療福祉支援隊の災害時調整会議開催体制の終了

IAP3. 外部からの保健所支援隊の受け入れ終了

ICS4. 通常地域医療体制への復帰

IAP1. 地域における災害時医療体制の通常医療体制への復帰

- IAP2. 災害時特別入院前医療の終了
- IAP3. 入院医療の通常体制への復帰
- IAP4. 特別患者搬送体制の終了
- IAP6. 地域レベルの医療総務業務の終了

ICS5. 福祉施設の通常業務への復帰

- IAP1. 被災福祉施設の復旧支援

ICS6. 公衆衛生対策・市町村支援

- IAP1. 公衆衛生対策における市町村特別支援体制の終了
- IAP2. 避難所、救護所などの閉鎖支援掌握
- IAP3. 在宅要支援者対策に関する特別体制の終了と通常体制への切り替え
- IAP4. 精神対策の通常体制への移行
 - こころのケア対策の終了時期の判断
- IAP5. 安全な水の確保の通常体制への移行
- IAP6. 環境対策の通常体制への移行
- IAP7. 動物対策の通常体制への移行
- IAP8. 遺体対応の通常体制への移行

ICS7. 地域ソーシャルキャピタルの活動状況の通常体制への移行の確認

ICS8. 保健所が直接行う対応の通常体制への復帰

様式1 職員緊急連絡先

氏名	携帯番号	メールアドレス	出勤場所	登庁時間	調査医療施設 (登庁途中)	調査福祉施設 (登庁途中)	担当救護所	出勤可能性
佐○×雄			保健所	10分				○
中×△夫			保健所	20分				×
福△宣○			保健所	15分	市立病院			○
…	…	…	…	…	…	…	…	…

様式2 職員機能把握表

発災からの時間	参集可能人数	保健所での機能可能人数(累積)
～30分	人	人
～1時間	人	人
～2時間	人	人
～3時間	人	人
～6時間	人	人
～24時間	人	人

様式3 災害時医薬品管理簿

(薬品名: _____) ○○保健所

日付	受入数	払出数	在庫数	確認	備考
記載例 H23.12.1	1000cap		1000cap		
H23.12.5		300cap	700cap	○△	Y救護所、MM医師に

様式4 職務代行の順位

業務内容	代行順位1位	代行順位2位	代行順位3位	備考
所長業務	副所長	福祉課長	健康づくり課長	
総務業務	総務係長	総務課員A	食品衛生係長	
福祉業務	福祉係長	福祉係員A	福祉係員B	
生活衛生業務	食品衛生係長	食品衛生係員A	食品衛生係員B	

(負傷、死亡などにより、職務に従事できない場合)

様式 1-2-1-1 災害時における医療機関、救護所の初動調査票

様式 a 災害時における医療機関の機能初動調査票（調査内容）

医療機関名				
調査日時	年	月	日	時 分
報告者				
参集者数	医師		人	目測で大まかな人数
	看護師		人	
	薬剤師		人	
	その他		人	
	合計		人	
施設状況	全壊	半壊	無傷	職員から聴取
使用不能な機能	X線室	検査室	手術室	
	救急室	透析室	給食室	
被災ライフライン	電気	水道	ガス	燃料
医薬品	不足	足りている	不明	不足の内容連絡
受け入れ可能人数	人			職員に概数を確認
入院患者への支援	必要（搬送、その他）	不要		必要な支援内容を確認
入院患者	人、（内	赤患者数	人）	目測で概数把握
入院待機者	人、（内	赤患者数	人）	
外来治療中患者	人、（内	赤患者数	人）	
外来待機患者	人、（内	赤患者数	人）	
その他特記事項				

様式 b 災害時における救護所（トリアージポイント）の機能初動調査票（調査内容）

救護所名	市町村	救護所		
調査日時	年	月	日 時 分	
報告者				
開設日時	年	月	日 時 分頃	
運営責任者				
参集者数	医師		人	目測で概数把握
	看護師		人	
	薬剤師		人	
	その他		人	
	合計		人	
施設状況	使用可	使用不可（全壊、半壊、その他）	職員から聴取	
設備状況	使用可	使用不可（	）	
被災ライフライン	電気	水道	ガス 燃料	
不足医薬品	トリアージタグ	絆創膏	包帯	ガーゼ
	消毒薬	はさみ	三角巾	シーネ（副木）
	カッターナイフ		ビニール袋	その他
外来待機患者	人、（内	赤患者数	人）	目測で概数を把握
その他特記事項				

様式c メール報告様式

医療機関用		救護所用	
報告時間	時 分	報告時間	時 分
参集状況	医 人	開設時間	時 分
	看 人	運営責任者	
	薬 人	参集状況	医 人
	他 人		看 人
	計 人		薬 人
施設	全壊・半壊・無傷		他 人
不能設備			計 人
不能ライフライン		施設	使用可 使用不可（全壊・半壊）
不足医薬品・機材		不能ライフライン	
受け入れ可能数	人	不足医薬品・機材	
入院支援	必要・不要	受け入れ可能数	人
入院患者数	人	治療中外来患者数	人
(内 赤患者)	人	(内 赤患者)	人
入院待機患者数	人	待機外来患者数	人
(内 赤患者)	人	(内 赤患者)	人
治療中外来患者数	人		
(内 赤患者)	人		
待機外来患者数	人		
(内 赤患者)	人		

様式 1-3-1-1 保健師等の健康支援活動のための記録・報告書等様式の一覧と用途

様式 No	様式の名称	内 容
様式 A	避難所支援活動報告書 (日報)	・ 避難所毎の日報として記録する。 ・ 避難所の健康支援活動の引継ぎに活用し、各避難所の生活上の問題や健康課題の解決につなげていく。
様式 B	健康支援活動実績報告 (総括票)	・ 避難所や仮設住宅等における健康支援活動の実績を派遣県単位等の所属でまとめる。 ・ 健康支援活動における、対象者数や主な相談内容の件数をまとめ、活動の実績報告にする。
様式 C	避難生活環境調査票	・ 避難所における生活環境面の状況把握
様式 D	被災者健康相談個人票	・ 避難所、仮設住宅、地域における健康相談（訪問・面接・電話等）の際に用いる個別記録票
様式 E	健康状況世帯票	・ 避難所、仮設住宅、地域において世帯の健康調査を行う際に使用する。 ・ 継続支援が必要な者については、健康相談票を作成する。
様式 F	避難所相談対応票	・ 各避難所において実施した健康相談の被相談者連名簿
様式 G	避難所における診察名簿	・ 医師の診察を受けた被災者の連名簿
様式 H	避難所に備える必要物品	・ 避難所等での健康支援活動に必要なもので、災害に備えて普段から準備しておきたい携帯物品や災害時があると便利な医薬品（市販のもの）
様式 I	生活居住平面図MAP	・ 体育館等の避難所で、避難している住民の生活場所が一目で分かるようメモをしていくもの。 ・ スタッフが交代しても、住民の名前と相談票とマップで確認し、住民にその都度確認する負担を軽減する。
様式 J	健康相談等週間予定表	・ 避難所等において、健康支援活動のグループがどこの所属で担当者は誰か分かるように、併せて、1 週間の計画が記入できるもの。 ・ 避難所では拡大した様式で掲示し、避難所利用者がサービスを利用しやすいように配慮する。

様式 a 避難所健康支援活動報告書（日報）

実施年月日	年 月 日 ()						
活動場所	() 避難所・ () 仮設住宅・家庭訪問・その他 ()						
従事者数	保健師					その他 ()	
	総数	保健所	市町村	応援分			看護師及び医療関係者、 医療班の巡回等
				県内保健所	県内 市町村	県外保健師	
	人	人	人	人	人	人	人
避難者状況	概ね避難者概数数 人 (うち：相談者数 人)					医師による診察受診者数 人	
健康状態	健康管理上要観察者 人 (主たるケア内容：)						
	要介護高齢者・障害者・精神障害者 人 (主たるケア内容：)						
	乳幼児・難病患者・有症者 人 (主たるケア内容：)						
	その他 人 (主たるケア内容：)						
	要支援個人票番号						
	《問題》						
	《対策および対応》						
清潔・環境	トイレの状況（清潔 ・ 不潔） 手洗い液確認						
ライフライン	水道・電気等について						
不足物資							
不足医薬品							
医師派遣必要性							
こころのケア必要性							
福祉用具必要性	ねたきり者・車椅子使用者等への対応						
必要な情報							
今後必要な支援							
引継ぎ事項							

様式 b 健康支援活動報告書 (総括表)

所属 (都道府県名) : _____ 活動人数 : _____ 人 記録者氏名 : _____

活動市町村名 : _____ 活動日 : 平成 _____ 年 _____ 月 _____ 日 ()

①活動場所 (○をしてください 複数可)

避難所	避難所以外	仮設住宅	その他 ()
-----	-------	------	---------

②活動方法 (○をしてください 複数可)

家庭訪問	個別健康相談	集団健康相談	直接的ケア
関係機関等の調整	現状分析や活動分析	その他 ()	

③対象人数 (実人数)

	感染症	精神障害	心の問題	生活習慣病		難病	心身障害	65歳以上の高齢者	妊産婦	乳幼児	その他の疾病	合計
				64歳以下	65歳以上							
家庭訪問												
健康相談												
健康教育												

④主な相談内容 (複数回答可)

内 容	延件数	内 容	延件数
血圧や頭痛等の問題について		トイレや排泄等について	
不眠・不安等に関する事		入浴等清潔に関する事	
食事に関する事		運動不足に伴う問題について	
風邪等感染症に関する事		介護サービスに関する事	
住宅等の今後に関する事		要介護者の介護に関する事	
生活習慣病に関する事		プライバシー等の問題について	
子ども (子育て) に関する事		今後の生活に関する事	
経済面に関する事		その他 ()	
その他 ()		その他 ()	

⑤関係機関との連携調整

連携機関 :	内容 :
--------	------

様式 C-1 避難生活環境調査票（表面）

調査日：平成 年 月 日（ ） 調査者氏名： _____

避難所名：		電話：
責任者名： (施設代表住民代表、ボランティア)		
施設に関すること		
避難者数： 人（定員 人） 昼間の避難者数： 人		
避難場所 屋内（体育館、行動、集会所、教室・会議室等、廊下ロビー、その他（ ））		
屋外（テント、シート、簡易建物、自動車、その他（ ））		
飲食物に関すること		
主食	弁当、おにぎり、パン、その他（ ）	
副食	缶詰、レトルト、その他（ ）	
飲料	牛乳、ジュース類、お茶、ミネラルウォーター、その他（ ）	
配布方法	整理券、その他（ ）、責任者氏名（ ）	
炊き出し	あり、なし（ご飯、味噌汁、 ）（室内、屋外テント、）	
運営	自主、ボランティア、その他 責任者氏名（ ）	
個人持込食品	あり、なし（インスタントラーメン、ホット飲料、そうざい、その他）	
残品処理	適、不適	
非常用保存食糧	人・日分	
保管場所	適、不適	
飲料水 上水道 保管容器	復旧済み、復旧見込み（ 月 日頃） ペットボトル、ポリタンク、大型タンク（非常用水） 日付 あり、なし	
食品関係	その他	

様式 C-2 避難生活環境調査票（裏面）

居住に関すること	
施設	暖房 換気 清掃 履き替え 下敷き 乾燥
	あり、なし 全館・個別（エアコン、電気ストーブ、石油ストーブ、こたつ） あり、なし 禁煙（全館、一部、なし） している、していない（自主、ボランティア、その他） している、していない あり、なし（段ボール・発泡スチロール・たたみ・マット・その他） している、していない（日光消毒・その他）
洗濯機	あり、なし
便所	既設 簡易 清掃
	使用可能（か所） あり、なし（か所） 場所：校庭・公園・道路・その他（） している、していない（自主、ボランティア、その他）
手洗い	設備 消毒
	あり、なし（便所・洗面所・）（流水式・ため水・） あり、なし
風呂	既設浴場 簡易浴槽 シャワー
	あり、なし あり、なし あり、なし
廃棄物	保管場所
	あり、なし 専用場所（）
居住環境関係 その他	
ペットに関すること	
	飼育世帯 飼育動物 管理状況
	あり、なし 犬（頭） 猫（匹） その他：（匹） 配慮している、配慮していない
ペット関係 その他	
その他健康に関すること	

様式 d-1 被災者健康相談個人票（表面）

No. _____

初回相談日：平成 年 月 日	氏名
住所 〒	電話番号
既往歴	
自覚症状	循環器系
	消化器系
	感冒症状
	精神症状
	筋・骨格系
	その他
相談内容	
今後のフォロー あり、なし	
現在の日常生活に必要な支援	
1. 医療受診 ①内科 ②外科 ③整形外科 ④精神科 ⑤歯科 ⑥その他 ()	
2. 日常生活の介助や見守り	
①移動 ②排泄 ③食事 ④更衣 ⑤清潔（入浴等） ⑥その他 ()	
3. 心のケア	
4. 栄養管理	
5. 健康チェック	
6. 生活支援（水・食事・衣服・トイレ・風呂・換気・ゴミ・騒音・その他） ()	
7. その他	
医師氏名	

※被災状況の区分は自治体により基準が異なります。その自治体の区分で記入してください。

様式 d-2 被災者健康相談個人票裏（面）

年月日時

様式 e 健康状況世帯票

記載日：平成 年 月 日 記入者所属・氏名：

調査場所	避難所、自宅、その他	自宅住所 (TEL)				ペットの有無 (種類：)
氏名	(性、年齢)	続柄	治療中の病気 治療継続 (服薬)	健康状態 (いつから)	介護の要否 介護度	現在の居場所
	(、 歳)		治療継続可・不可	不眠、便秘、 風邪、その他	介護 要・否 介護度 ()	
	(、 歳)		治療継続可・不可	不眠、便秘、 風邪、その他	介護 要・否 介護度 ()	
	(、 歳)		治療継続可・不可	不眠、便秘、 風邪、その他	介護 要・否 介護度 ()	
	(、 歳)		治療継続可・不可	不眠、便秘、 風邪、その他	介護 要・否 介護度 ()	
	(、 歳)		治療継続可・不可	不眠、便秘、 風邪、その他	介護 要・否 介護度 ()	
	(、 歳)		治療継続可・不可	不眠、便秘、 風邪、その他	介護 要・否 介護度 ()	
	(、 歳)		治療継続可・不可	不眠、便秘、 風邪、その他	介護 要・否 介護度 ()	
健康面・生活面で今困っている事、心配な事				自宅以外にいる理由 1. 家屋が危険な状態 2. 家の中に入れない (家具等が壊れている) 3. ライフラインが止まっている 4. 余震や二次災害が心配 5. その他 ()		
今後の保健師の対応 必要 ・ 不要 1. 緊急 (当日または翌日) 2. 経過観察 (週間後・ か月後)						
備考						

様式 f 避難所相談対応票

対応日：平成 年 月 日 () 避難所名： 担当者名：

番号	氏名	年齢	性	血 圧	相談内容
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	
				/	

様式 g 避難所における診察名簿

診察日：平成 年 月 日 ()	診察時間： : ~ :
診察医師名：	避難所名：

患者名簿

番号	氏名	年齢	性	住所 電話番号	診察内容

様式 1-3-1-2 在宅要支援者被災調査票

調査日	平成 年 月 日 時 分 ころ	相手方	1. 本人 2. 家族 () 3. その他
調査者		調査方法	1. 訪問 2. 電話 3. その他 ()

患者情報

患者氏名		患者住所		電話番号	
病名		医療機関		主治医	

被災情報

	被災状況と支援の必要性	支援対応緊急度
家屋	1. 居住不能 2. 居住可能	1. 直ちに 2. 経過追跡
病状	1. 悪化搬送 2. 悪化自宅待機 3. 普通	1. 直ちに 2. 経過追跡
電気	1. 停電 2. 通常	1. 直ちに 2. 経過追跡
水	1. 断水飲料水なし 2. 断水飲料水あり 3. 通常	1. 直ちに 2. 経過追跡
酸素	1. 1日の予備なし 2. 1日の予備あり	1. 直ちに 2. 経過追跡
薬	残りの薬の日数	1. 直ちに 2. 経過追跡
医療機器	1. 使用不能 2. 使用可能	1. 直ちに 2. 経過追跡
その他 必要な支援		1. 直ちに 2. 経過追跡

保健所確認欄

アセスメント及び 今後の方針	【支援方法を変更する必要がある・ない】 (問題点があれば具体的に記入する。)
今後の対応	方法：1 訪問 2 電話 3 その他 () 時期： 対応者：

様式 1-3-1-3 在宅要支援者療養状況基礎調査票

調査日	平成 年 月 日 時 分～ 時 分	相手方	1. 本人 2. 家族 () 3. その他
調査者		調査方法	1. 訪問 (場所) 2. 電話 3. その他 ()

患者情報

患者氏名	(年 月 日生) (男、女)	在住市町村	療養場所	1. 自宅 2. 入院 3. 入所 ()
病歴等				使用薬剤
受給医療費等	1 重症認定 (有・無) 2 身体障害者手帳 (級) 3 介護保険 (介護度) 4 市町村難病患者助成金 5 障害年金 (級) 6 特別障害者手当 7 福祉医療 8 生活保護 9 その他			

医療、介護等の状況 (支援のキーパーソンに◎)

主治医 (専門医)	頻度 (回 / 週・月)				訪問診療	頻度 (回 / 週・月)			
その他の医療機関	悪化時・レスパイト時の入院先: (レスパイトの頻度:)								
ケアマネ (職種)					訪問看護 (担当者 TEL)				
訪問介護 (担当者 TEL)					その他	医療機器担当者等			
サービス利用状況	月	火	水	木	金	土	日	備考	
	午前								
	午後								

災害時等への対応

災害への準備状況	・確認や準備が (1 済んでいる 2 今後する予定 3 準備はしていない) ・確認や準備が済んだもの (1 避難先 2 避難方法 3 医療機器の電源 4 常備薬 5 その他:)
災害時の心配事、特記事項	

その他

受容状況	1 告知を受け、病気について受容、理解がある 2 告知を受けたが、受容、理解が不十分 3 告知は受けていない 患者本人の受容状況 () 家族の受容状況 ()
本人の希望 家族の思い等	

ADL、障害等

	項目	障害の有無	障害ありの場合、生活に支障をきたすと考えられる内容を具体的に記入 特記事項など	
	病状・障害	嚥下障害	有・無	
構音障害		有・無		
呼吸障害		有・無		
排尿・排便障害		有・無		
精神障害		有・無		
運動障害		有・無		
睡眠障害		有・無		
辱創		有・無		
ADL等	食事・栄養	自立、部分介護、全介護	1 介助による経口摂取 2 胃ろう 3 中心静脈栄養 4 経鼻経管栄養	食事内容：
	入浴	自立、部分介護、全介護	1 介助で入浴 2 シャワー浴 3 清拭 4 入浴車	
	更衣	自立、部分介護、全介護		
	排泄	自立、部分介護、全介護	1 トイレ（介助） 2 ポータブルトイレ 3 尿器 4 差込便器 5 オムツ使用 6 カテーテル留置	排泄方法：
	移動	自立、部分介護、全介護	1 やや歩行困難 2 介助歩行 3 杖 4 歩行器 5 車椅子 6 ベッド上のみ	
	会話	自立、部分介護、全介護	1 筆談 2 意思伝達装置・パソコン 3 まばたき文字盤	
	使用機器等		1 なし 2 人工呼吸器（NIPPV・TPPV） 3 気管切開 4 吸引 5 吸入 6 酸素療法 7 胃ろう 8 その他（)	
主な介護者等		1 配偶者 2 親 3 兄弟 4 子 5 子の配偶者（嫁・婿） 6 看護師 7 ヘルパー 8 その他（介護の協力者等：) 【介護のキーパーソンは：]		

保健所確認欄

アセスメント及び今後の方針	【支援方法を変更する必要がある・ない】（問題点があれば具体的に記入する。）
今後の対応	方法：1 訪問 2 電話 3 その他（) 時期： 対応者：